



相も変わらずきりきり舞い

諸田玲子著 (光文社)

小町娘と評判の舞は十返舎一丸の娘。なぜか父や葛飾北斎の娘お栄ら、奇人変人たちの大騒動の後始末ばかり。恋を邪魔されるまじないは「奇人氣まぐれ、きりきり舞い！」『小説宝石』掲載を書籍化。



ウエカツの目からウロコの魚料理

上田勝彦著 (東京書籍)

「じくみ」を知れば、魚料理はおいしくなる。それがニッポンのサカナ道！水産庁勤務の元漁師が、魚のおもしろさやおいしさ、魚料理の基本、簡単こたわりレシピなどを紹介する。



ルーシー変奏曲

サラ・ザール著 (小学館)

ピアノリストとして英才教育を受けてきた十六歳のルーシーは、コンクール会場で突然舞台から立ち去ってしまう。なぜ彼女は弾けなくなったのか？迷い、家族との葛藤、少女が自分らしさをとりにとず心の旅を描いた成長物語。

4/12 親子読書会の読み聞かせを行いません

楽しい紙人形劇やおもちゃ作りなどを行います。
▶とき 4月12日(土) 午前10時30分から ▶ところ 社会教育センター 幼児遊戯室
▶対象 小学校低学年、幼児 ▶問合せ 社会教育センター 図書室 28・5449

4/30 図書室休館のお知らせ

資料の整理のため、4月30日(水)は、図書室をお休みします。
5月1日(木)からは平常どおり利用できます。
▶問合せ 社会教育センター 図書室 28・5449

豊山俳句クラブ

青山克己選

三寒四温住めば都といふところ 坪井昭子

昏々となほ深々と山眠る 岡島 齋

制服の詰衿高し春隣 杉浦みどり

身の内が透けるがごとし寒の水 小塚美枝

冬晴れの宇宙見渡す地球人 石黒貴代子

三日月を写して凍てし水鏡 杉本衿子

冬怒濤藍色深き海なりき 坪井径子

立春を流れて河の光りをり 田村多喜子

大寒の扉は固く閉ざされて 高木須磨子

大寒の身に枷ありしごとくなり 村上ゆり子

朽ちるまで散りても花の美しく 青山克己

豊山歌壇

水野笑子選

人生の下り坂なるを如何に生くや 水野恵子

喜寿の節目を足腰鍛へむ 山田 米

カレンダーひと廻りして曜日合ふ 一九九七年のカナダの風景 渡辺トヨ子

一間にて会社の察に暮らし初めし 夫と二人の香き冬の日 中澤芳子

山峡の平成とふ名の道の駅に 清水寺に似し寺のあり 一柳千鶴子

冬の川鴨の群来る穏やかき 村上一枝

靴音消して川浴びを行く 林 たよ

栽培せし無花粉杉の一本を 挿木に増やすとふ嬉しきニュース 落合さなえ

哀しみの日日振り返る事止めて 今日も笑顔に読経を終へぬ 荒川昌枝

海中の火山噴火は続きあて 生きある地球の活力見せぬ 安藤定岳

カプトムシ蓄肥の中に丸くなり おいらの出番を待ちてゐるらし 一柳千鶴子

亡き母の病み初めし齢となりけり 心身正して宮に参らむ

編集後記

二月に富士山を見てきた。用事があったのは浜松だったけど、世界遺産に登録されたことだし、せっかくだから一足伸ばそうということになった。これまで新幹線の窓から何度か見かけたことがあったが、いつも雲に隠れていたり、なんとなくほやけていたり、とくに感慨を抱いたことはなかった。しかし、今回の富士山は違った。百パーセントの快晴の空に、切り取ったように浮かぶ富士山は白い冠をいただき、堂々とそびえ立つ、まさに日本一の山だった。遠くから眺めるだけのつもりだった私たちが家族は、富士の麓まで車を走らせることにした。近づけば近づくほど、富士の巨大さに圧倒される。何よりも、その裾野の広いこと。ぐるっと回るだけで三時間はかかるらしい。三時間あれば、一般道でもどれだけ遠くに行けるだろう？ 高いだけではない、広い。それが富士山である。▼名古屋ポストン美術館で、ちよつと北斎の富嶽三十六景を公開していたので、富士山つながりでこちらも見てきた。富士山の美しさはその山頂だけではなく、裾野にもあることを感じた。高さとそれを支える広さ、それが富士山の魅力ではないか。▼町長の施政方針でも、高い山を作るために、裾野を広げようという呼びかけがあった。私たちの町の名前には最初から豊かという言葉が入っている。そして豊かさとは、強みも弱みも全部ひっくるめて、抱きかかえ、ともに成長することでもあかと思ふ。豊かで、高い山を目指して、新しい年度のスタートを切りたい。